

○除草(中期除草剤)

条間に生えているホタルイやオモダカなどの雑草は、放置しておく、イネが必要とする栄養を吸収してしまい減収につながります。取りこぼした雑草が見られたら、抜き取るか、下記の**対象草種**や**葉齢・大きさにあった除草剤を適期に**散布してください。

雑草名		ノビエ	ウリカワ	オモダカ	ホタルイ	クログワイ	クサネム
農薬名							
土壌処理剤	イッソウ1キロ 粒剤 (湛水散布) 【移植】移植後7日～収穫60日前 【直播】イネ1葉期～収穫60日前	4.5葉期まで	5葉期まで	3葉期まで	10cmまで	10cmまで	10cmまで
	ニトウリュウ1キロ 粒剤 (湛水散布) 【移植】移植後15日～収穫60日前 【直播】イネ4葉期～収穫60日前	4葉期まで	5葉期まで	草丈	4葉期まで	草丈	草丈
	ニトウリュウジャンボ(湛水散布) 【移植】移植後15日～収穫60日前 【直播】イネ4葉期～収穫60日前	4葉期まで	4葉期まで	草丈	4葉期まで	草丈	草丈
	バサグラン 粒剤 (落水散布) 【移植】移植後15日～収穫60日前 【直播】イネ3葉期～収穫60日前	—	4葉期まで	矢じり葉	3葉期まで	草丈	草丈
	クリンチャー1キロ 粒剤 (湛水散布) 【移植】移植後7日～収穫30日前 【直播】播種後10日～収穫30日前	4葉期まで	—	—	—	—	—
雑草茎葉処理剤	クリンチャー1キロ 粒剤 (1.5Kg/10a散布) 【移植】移植後25日～収穫30日前 【直播】播種後25日～収穫30日前	5葉期まで	—	—	—	—	—
	バサグラン 液剤 (落水散布) 【移植】移植後15日～収穫50日前 【直播】播種後35日～収穫50日前	—	5葉期まで	矢じり葉	30cmまで	30cmまで	10cmまで
	クリンチャーバスME 液剤 (落水散布) (500ml×2本/10a使用) 【移植】移植後15日～収穫50日前 【直播】播種後10日～収穫50日前	5葉期まで	5葉期まで	矢じり葉	30cmまで	30cmまで	10cmまで

○溝切り

- ・田植え後、約25日経過したら、茎数が目安本数あるか必ず確認してから溝切りを2回実施し、中干しを開始しましょう。
- ・軽く田干しを行い、土を落ち着かせてから深さ10cm程度で、溝の間隔は、圃場の状況により10～20条に1本の割合で行いましょう。

【溝切り開始の目安】

品種・作型・栽植密度	1株当たり茎数(平均)
コシヒカリ・移植・45株/坪 植え	22本/株
コシヒカリ・移植・50株/坪 植え	20本/株
コシヒカリ・移植・60株/坪 植え	18本/株
あきさかり・移植・60株/坪 植え	20本/株
コシヒカリ・直播	100本/m

溝は排水溝に
つなげてください。



○中干し

①中干しの効果

- ・過剰分げつを抑制し、籾数を適正にする。
- ・根を深くまで張らせて、気象変動の影響を受けにくくする。
- ・土の中で発生したガスを抜き酸素を供給し、根腐れを防止する。
- ・田面を固めることで、秋の収穫作業が容易になる。

②中干しの程度

- ・田面に「小ヒビ」が入るくらいの軽めで幼穂形成期までに歩いて沈まない程度。
- ※過剰な中干しは、根を傷め、胴割粒・乳白粒の発生要因となります。

○水管理(間断通水)

- ・中干し後は、間断通水(入水～自然落水の繰り返し)で根の活力を保つことが重要です。

○雑草管理(カメムシ対策)

6月中の草刈りは、殺虫剤散布に匹敵します！！

- ・この時期に畦畔の草刈りを集落ぐるみで徹底的に行う事で、周辺のカメムシの生息密度が減少し、出穂期以降の防除効果をより高めることができます。
- ・休耕地や大麦刈取り跡、そば作付予定の圃場も刈払機やフレールモア等での除草や耕起を実施しましょう。
- ・特に、大麦跡にはカメムシの好むイネ科雑草が生えやすく繁殖地になります。
- ・イネ科以外の広葉雑草が繁茂している箇所においては、イネ科雑草の穂の部分の高さより少し下(穂だけ)を刈取り、広葉雑草を残して地面への日照を抑えることにより、イネ科雑草の繁茂を抑制しましょう。



○大麦刈取り後の”雑草対策=カメムシ対策”を必ず実施してください！！

- ・大麦刈取り後の管理は”カメムシ対策”に大変重要です。未耕起の麦跡の圃場(特に、そば作付予定地)においては、毎年、非常に多くのカメムシが発生しています。たとえ草丈が短く目立たなくても、若齢イネ科雑草が繁茂する麦跡の圃場は、カメムシ類にとっては絶好の繁殖場所となります。
- ・早期に耕起をするか、除草剤+殺虫剤(スミチオン乳剤1000倍液)の散布でカメムシの増殖を抑えてください。遅くともハナエチゼンが出穂する7月中旬前に行うことが重要です。